



気合を入れて、面一本! ～那須地区小学生剣道錬成大会～

3月5日、第39回那須地区小学生剣道錬成大会が三島体育センターで開催されました。

この大会には本市のほか、大田原市、那須町から132人の子どもたちが参加。会場内には凛とした空気が張り詰め、学年ごとに分けられたそれぞれの試合所では「メン!」と鋭く打ち込んだり、お互いに激しく打ち合ったりする場面も。参加した子どもたちは、日頃の鍛錬の成果を存分に出し合っていました。



議場に響くハーモニー ～第8回議場コンサート～

3月市議会定例会開催期間の2月27日、この日の審議が始まる前に議場でコンサートが開かれました。今回は、全国規模のコンクールで受賞歴を持つ三島中学校合唱部が招かれ、その美しい歌声で観客を魅了。歌い終わった後、合唱部部長の2年生・長濱明歩さんは、「コンクールと同様に緊張はしたけれど、一緒に口ずさんでくれているお客さんもいて、とても楽しく歌うことができました」と笑顔で答えてくれました。※学年は取材時(平成29年2月)のもの。



新たな学校の形の さきがけへ ～塩原小中学校 義務教育学校～

今般、学校教育法の一部が改正され、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が新たな学校の種類として規定されました。

本市では、これまでも施設一体型小中一貫教育を行ってきた塩原小中学校を、市内初の義務教育学校として4月1日に開校しました。今後、特色を生かした教育活動に取り組み、更なる学力の向上などを図っていきます。



会社の技術ってすごいですね ～市内事業所 小学校出張授業～

東レバッテリーセパレーターフィルム(株)(井口)の社員が2月28日に西小学校(写真)、3月3日に大原間小学校を訪問。6年生に対して「水処理膜と地球環境問題とのかかわり」をテーマに出張授業を行いました。水質汚染や水不足など、世界の水を巡る問題の話聞きながら、家庭用浄水器にも用いられる膜を使い、「水のろ過」に挑戦。色水は透明になる一方、食塩水から塩分はなくなり、膜の目の大きさを変えれば解決することを学びました。

ダート 未舗装道で1,000分の1秒を競う ～ダートトライアル選手権 in NASU～

3月18・19日にかけて、高林の丸和オートランド那須で、日本自動車連盟・JAFが主催する「全日本ダートトライアル選手権」の第1戦が開催されました。この競技は、未舗装のコースを走り切る時間を競うもので、土煙を巻き上げる豪快なドリフト走行が見どころの一つ。本大会の歴史は長く、当会場で開催は30回以上を数えます。排気量や駆動方式、改造の度合いで区分された9クラスに全国から146台が出場。トップレベルの運転技術を持つドライバーが1,000分の1秒を競いました。



↑未舗装でもトップスピードは100kmを軽く超える →スタート地点に向かうモンスターマシン
→スタートを待つドライバー。緊張感が漂う ↓ドリフト走行でカーブを曲がっていく



←レースを見守る多くの観客。北は北海道から南は九州まで、他県ナンバーの車が目立った



刷られた版画

本格的な版画を刷ってしおりを作ろう ～那須野が原博物館 版画ワークショップ～

那須野が原博物館で3月18日、輪切りの木を彫った木版を使い、しおりを作るワークショップが行われました。講師は、県内のアート活性化を目的に、美術関係者で組織された「あーとネット・とちぎ」の会員。本格的な版画用卓上油圧プレス機(写真)が用意され、インクを塗った木版と紙をセットした後、十分な圧がかかるまでハンドルを繰り返し押し下げます。力を込めて刷り上がった版画は、ラミネート加工を施してしおりに仕上げられました。



紡がれていく伝統を神社に奉納 ～西富山の獅子舞～

西富山なるかみの雷神社で3月12日、市指定無形民俗文化財の獅子舞が奉納されました。この舞は、元禄3年(1690年)に雷神社が創建された後、5年後の元禄8年(1695年)から奉納されるようになったと伝えられています。大正時代に一度途絶えてしまいましたが、地域の住民が保存会を結成し、平成2年から再び奉納されています。当日は午前10時と午後1時から2回にわたって舞が奉納され、笛と太鼓の音があたりに響き渡りました。